

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和元年 6 月 22 日（土） 午前 10 時～11 時 30 分
場 所 鶴ヶ岡分館（鶴ヶ岡三丁目町会）
参加者数 29 人



主な意見等

参加者 メモリアルホールから鶴ヶ岡医院へ向かう道は東武バスの路線でもあり、300メートルくらいの中に4つ交差点があります。朝の見守りは良いのですが、帰りは子どもたちがバラバラに帰ってくるので、なかなか目が行き届かず、交差点を渡るのが非常に危険です。あの通りをゾーン30に指定していただくことはできませんか。

市 長 「ゾーン30」は、一定の区域内を最高速度30キロに指定するものです。ご提案の地域が危険ということで、路面標示や啓発看板など対策が考えられるか担当課に指示します。
ゾーン30の指定については、警察との調整になります。西側地区で現在導入されている地域は、細い路地のところが中心で、鶴ヶ舞、東久保、桜ヶ丘などです。警察にはその点も含めて要望していきます。

参加者 防災無線の放送が聞き取れません。もっと聞きやすい工夫、しゃべり方を変えるだとか対策はないのでしょうか。以前よりは良くなったと感じているが、語尾がわからなかったりします。

市 長 市内各所でタウンミーティングを開催すると必ず出る話題です。音声は空気の振動で伝わるものなので、風向きによっても違ってきますし、ちょっとした建物が建っただけでも、聞こえ方が変わってしまいます。防災行政無線は、基本的には窓を開けて聞いてもらうのを前提に整備しています。どうしても難聴地域というのがあって、スピーカーを設置したときと比べて、建物などの状況が変わり、聞こえ方も変わっていきます。

「このエリアが聞きづらい」ということを参考に伺いたいので、この会の終了後、住所を教えてください。また、携帯に登録することにより放送内容をメールで配信するサービスもありますので、是非ご利用ください。

参加者 そのメールの手続きは市役所や総合支所でできますか。

市 長 ホームページ、またはご自身の携帯で手続きを行うことができます。分からない場合は市役所にお越しいただければ設定をご案内します。

参加者 子どもに対する事件が増えていると感じています。登下校時の見守りをしているときにパトカーが通ることがありますが、警察の方から何のリアクションもありません。こちらは防犯パトロール用のベストを着ているので見守り活動をしていることは分かると思います。パトロール中の警察官と我々が連携していることが示せば、犯罪の抑止につながるのではないのでしょうか。パンフレットなどで防犯をPRするよりも効果的であると思うので、ぜひ警察にお願いしてもらいたいです。

市 長 まさにそう思います。みなさんが防犯パトロールのベストを着て立ってくださるだけでも、かなり抑止力があると思います。お話にあったように、おまわりさんが「ご苦労さまです」と言ってくれることで連携が取れていることを示すことが、さらに抑止力を高めると思います。

来週、東入間警察署長とお会いする機会がありますので、ご提案があったことをお伝えします。

参加者 先日、鶴ヶ丘小学校の児童が、メモリアルホールからの通りを通過

し終わるのに 30 分もかかっていたので、最後の 3 人には注意しました。寄り道せずにもっすぐ家に帰るというのも事件を防ぐ点から大切だと思います。

市長 子どもたちにとっては、地域の方から注意していただくというのはとても大切だと思います。

参加者 4 月から 2 歳の娘が保育所に通っています。ところが、母親の就労実績がないということで退所になりそうなのです。こちらにも原因はあるのですが、母親が求職中ということで入園できたのですが、第 2 子の妊娠が分かりました。現在、つわりがひどく体調が不安定で働けない状況です。保育所は、働く親のための施設としてあると思いますが、私たちは働きたくても働けない状況で、結果的には追い出されてしまうこととなります。今後ふじみ野市で子どもを育てるのに不安だなという思いがしています。市長が「住み続けたいまち」だと言っていたので、おそらく待機児童がたくさんいたときにそういった細かい決まりごとができたのだと思いますが、待機児童もほとんどいない中で、従来あった決まりのまま進めていくしかないのでしょうか。

保育課に相談していますが、体調が不安定で就労できないということであれば、病院の診断書を提出するよう言われました。ただし、体調不良が理由で入所を継続するのは難しいとのことでした。

市長 入所にはそもそも前提としてルールがあります。お話しいただいたケースは、ルールのはざまにあるものだと考えます。本来なら働くことが前提で、保育の必要性のある家庭のお子さんをサポートするというのが保育所の役目です。まさにそうしようとしていた矢先に、体調を崩されたり、妊娠による体調不良になったりというような状況のようですが、「今いる保育所以外で」というような話はありませんでしたか。

参加者 他の選択肢を尋ねたところ、認可外の保育所という話がありました。そのときはその選択肢を検討できなかったのが、退所という形になりそうです。働くつもりで埼玉に来て、一緒に働こうと思ったら第 1 子が生まれて働けなくなり、また働こうとした矢先に第 2 子の妊娠で働けなくなった状況です。子どもはすごくうれしいのです

が、働くといったことではタイミング的にすごく悪かったと思います。2人とも実家が離れているので、親族に頼ることもできません。育休中であれば保育所に預けることができるのに、もやもやとした気持ちが残っています。

市長 「ルール上、それはどうか」と思われるかもしれませんが、公平性から見ると、厳しい判断になってしまっている状況だと思います。おかげさまで、今年4月の待機児童は、基準上ですが「2人」という状況です。これは基準上の数字で、カウントの基準から外れた待機児童数は、実はもっといるというのが実態だと考えています。それをサポートするために認可外の保育所などにご協力いただきながらやっている状況です。

ご住所をお伺いできれば、担当課に状況を確認し、特別扱いするというのではなく、場合によっては他にサポートの手段があるかもしれないので確認させてください。

参加者 なかなか市長さんと身近にこういった距離でお話できるのは他の市町村にはないことで、いいと思います。これまで3回参加してきましたが今日は一番良かったと思います。そこで、3点お伺いします。

1つは私の独り言と思って聞いて欲しいのですが、今日の話は東側地区の話題が多く、西側の話題が少なかったと感じました。もう少し旧大井町側も、という気持ちで聞いていました。

2点目、私は普段仕事をしているので、平日に役所に行ったり公的な機関を利用したりする機会がありません。日曜日も開庁していることは知っていますが、それに合わせて行動することもなかなか難しいところでは。「健康マイレージ」という事業に当選したので始めようと思ったら、平日に役所に来るよう指定され、行けませんでした。やりたいことがあるにも関わらず参加できなかったのが残念で、税金払ってるのにな、という気持ちになりました。

3点目は、他の市町村では空き家問題が深刻になっているようですが、ふじみ野市では問題になっているのでしょうか。件数としてはどれくらいあるのでしょうか。

市長 空き家対策について、ふじみ野市では県内でも早期に条例を制定し、取り組んできましたが、空き家の対応は行政として限界があり

ます。国の方でも空き家対策の特別措置法を制定するなどの動きがあります。市としては弁護士を委員に入れて対策協議会を設置し、空き家に対して取り組んでいるところです。

市内の実態は、俗にいう空き家は900戸という数字が出ています。正式な全戸調査という訳ではありませんが、自治組織の皆さんにアンケート調査をお願いして、上がってきた数字を集計したものです。

国の特定措置法ができたときに、「特定空き家」に指定すると行政的な指導や勧告、命令ができるのですが、個人の財産であるため、なかなかデリケートな対応が必要です。「これはひどいですよ」と言われても、当事者が高齢でなかなか現地に行けないという方がいたり、相続がされずにそのままになっている物件であったり、いろいろな場合があります。宅建協会の方にも協力してもらい、一つ一つ処理していこうということで、取り組みを進めています。持ち主が遠方であったり、相続したが来られなかったりという方に対してはシルバー人材センターで空き家の管理を安い料金でやっていることを紹介しています。空き家対策協議会は私もメンバーなので、しっかり対応していきたいと思います。

健康マイレージについて。平日しか受け付けないということだったのでしょうか。あるいは、休日だけ都合がつかなかったということでしょうか。せっかく参加しようとしてくださったのに申し訳ありません。

参加者 全市民に平等に参加できる機会を与えていただきたいと思います。例えば、コンビニでも手続きができるように、など考えていただきたいです。税金もコンビニで支払いができるので、そんなイメージで考えてもらえればと思います。あるいは、携帯だけで登録が済ませられるとか、そんな形でもよいのではないかと思います。

市長 健康マイレージ事業はご好評をいただいております、募集枠も増やして実施してきました。健康について皆さんに関心を持ってもらえることは大変ありがたいことです。事業に当たったのに参加できなかったこと、大変失礼しました。ご意見を参考に改善を図っていきます。たまたま今日の紹介は東側地域が多かったかもしれませんが、決してそんなことはありません。せっかくこういう話になったのでお話しすると、私は就任した当時は、「合併した街だし、もう福岡とか大

井とか言わずにふじみ野市だよね」というように街全体が融和するように心がけてきました。しかしどちらの地域のお話を伺っても、東側地域に行くと「大井中央公民館は建て替えて上福岡公民館は改修か」とか「大井総合支所は建て替えて本庁は改修か」などと言われてしまうことがありました。どうしても慣れ親しんで長年暮らした地域に対する愛着があるので、自分たちの住んでいたところを基準に考える、というのは当然のことだと思います。そんな中でも、「ふじみ野市は合併してよかったよね」とみんなが思えるような進め方をしなければいけないと、最近痛切に感じています。ご指摘ありがとうございます。

参加者 社会教育施設、公民館の建て替えについて、市としてリスクヘッジをどう考えているのか伺います。一つは合併特例がなくなり、数年すると人口も減り少子高齢化が進んで税収も落ちるという中で、公民館建て替えの計画というのはリスクがあると感じます。この10年間で公民館の利用者は約半分に減っていますが、コミュニティに関する施設が市内には結構あります。上福岡公民館、西公民館、大井中央公民館と3つの施設を維持して、将来的に財政上の問題はないのでしょうか。また、計画をみると昭和56年の新耐震基準の前に建てられた大井中央公民館は、現在耐震性の問題があるとされていて、同時期に建てられた勤労福祉センターと上福岡公民館は、耐震補強で改修ができるとは思えません。その点でもリスクがあるのではないのでしょうか。

さらに、明らかに耐震性がない大井中央公民館は2年間使い続けておいて、上福岡公民館の改修を行うのは順序が逆だと感じます。そもそも、市の財政上のリスクからいうと大井中央公民館と勤労福祉センターの両方必要なのかという疑問もありますが、計画がそうなっているのであれば、地震がきたときのリスクを最大限考慮することが必要だと思います。もしも地震がきたとき、600人近いホールは非常に心配であるのでご意見を伺います。

市長 ご意見ありがとうございます。耐震性がないものに対する工事を後回しにしているように見えるというご質問ですが、公共施設に限らず耐震性が不足した建物は、そのまま使用しているのが実情です。特にホールの特定天井については、比較的新しい建物でも、東日本大震災を受けて安全基準が上がったので、県内でもかなりの数の施

設が、改修計画すら立っていないのが実態です。
耐震性がないものから先に手を付けるというのは当然の考え方です。大井中央公民館については、あの規模のものを複合施設として建て替えるに当たり、設計に要する期間が必要であることを考え、先に上福岡公民館を改修するという計画になりました。
大井中央公民館についてもこれから業者選定を行い、DBO 方式という方式を使い、設計・建設・維持管理を一括で発注できるようなシステムで、できるだけ速やかに手続きとしては可能な限り前倒ししたいという思いでここまでもってきました。おそらく今回の文化施設の計画が出てこない、耐震性がないにも関わらず、もう少しこのままの状態を維持せざるを得なかったかと思っています。
設計などの準備期間や利用者の利便性を考え、今回のような計画をお示しさせていただきました。
また、今後施設を作るに当たり、市の人口が減少しても維持管理はできるのかということですが、合併後に策定した公共施設適正配置計画のとおりになかなか進んでいないのは事実です。それでも可能な限り最終的なトータルコストを落とすための施設集約だとか老朽化対策をして、最小限の中で進められていると認識しています。

参加者 公共施設というのはなかなか絞り込めないとは思いますが、新たに施設を作ると新たなリスクも出てきます。苦渋の選択かもしれませんが、そういったものを早く絞り込むことも必要だと思います。11 万程度の都市で 500 人、600 人規模のホールが 2 つも必要かと疑問を感じます。

市長 今日は整備計画を詳しく説明できませんでしたが、勤労福祉センターのホールは、建て替えて 300 席程度のミニホールにする計画です。

参加者 平成 21 年に公共施設見直し計画が出ています。発表から 10 年経つのに何も手をつけられてきませんでした。できるだけ早くリスクが少ないように実施していただくことが大事だと思います。

市長 計画については、なかなか進められずにきたのが実態です。計画を説明しておきながら申し上げにくいのですが、将来を考えるのならホールを作るより川越のウエスタに行くバス代を補助した方が将

来のためにはいいのでは、という話もあります。11万人程度の規模からすると、2つあるホールを1つにするのが合併のメリットだろう、という意見があるのも承知していますが、住民の感情として「今より損なう」というのを嫌います。

日本全体に目を向けると、新幹線や高速道路などの老朽化も進んでいます。人口減少の中、老朽化対策がこれから大きくなる見込みの中、新たな新幹線の計画が出ています。次の世代のことを考えたら、大きな課題になることだと思います。

ご指摘いただいたことを頭に置き、将来的なリスクを考えながら今後の計画を進めていきたいと思っています。貴重なご提言ありがとうございます。

参加者 市内に約40年住んでいますが、本日初めて参加しました。諸先輩方のお話や、小さなお子さんに関する問題を抱えている話など、いろいろ聞くことができました。3～4年前に保育園が民営化する際、私の子は鶴ヶ岡保育所から別の代替園に移りました。そんなこともあり、当時から市長に対する印象は良くありませんでした。今日タウンミーティングに参加して、いい会だと思いました。先ほどホールの話が出ていましたが、私は中学生頃まで大井中央公民館のさまざまなイベントに参加していたのを思い出しました。規模が大きくなると形式が変わるかもしれませんが、ホールでこういったタウンミーティングのような、市長から話を聞く機会があってもいいのかな、と思いました。

また、私は野球をやっているのですが、運動公園にはフットサルコートができ、旧福岡高校も改修されるなど、市長がスポーツに力を入れているのを感じます。子どもたちにもそういった環境が作ればいいな、と思いました。私の小さい頃は道路や公園でボール遊びをやるような時代でしたが、今はなかなかできないと思います。有料であったり予約が必要だったりしますが、市として今後も取り組んでいただきたいと思っています。継続してやっていけば、人口減少を食い止め、若い方にもっと来てもらうことにつながるのではないかと考えます。

市が取り組んでいることが見えただけでも参加して良かったと思います。合併するメリットを初めて知ったし、住んでいながら知らなかったこともありました。市長から、後世にという話が再三ありましたが、次の世代につなげていくのが我々の役目かなと思います。

す。市役所も大変だと思いますが、今後もタウンミーティングを続けていくといいと思います。